

会議要旨

【開催概要】

会議名称	第9回富田林市子ども・子育て会議
開催日時	平成27年2月20日(金) 15:10~16:15
開催場所	富田林市役所 3階 庁議室
出席委員 (名簿順表記)	・井上委員(会長)・中尾委員(副会長)・開沼委員 ・横浜委員・福田委員・久米委員・辻野委員・吉田委員 ・松村委員・西谷委員・杉分委員・佐藤委員・岡本委員 ・岡野委員・吉岡委員・松田委員・北谷委員・三浪委員(計18名)
欠席委員	なし
事務局	子育て福祉部：藤田部長、教育委員会教育総務部付：芝本部長 こども未来室：青木室長、寺元課長、澤口参事(教育委員会)、 辻野参事、大岡主幹、谷田課長代理、坂本係長、山口 ぎょうせい：稲垣、木村
会議次第	1. 開会 2. 会議資料の説明 3. 案件 ・パブリックコメントのご意見とその考え方について ・子ども・子育て支援事業計画(案)の修正点について 4. その他 5. 閉会
公開 / 非公開	公開
傍聴者	1人
その他	なし

【議事要旨】

<p>事務局</p>	<p>案件 パブリックコメントのご意見とその考え方について</p> <p>●資料1「パブリックコメントのご意見に対する市の考え方(案)」についての説明。</p> <p>まず、パブリックコメントの結果を報告する。平成27年1月5日から2月6日までの31日間にわたって、意見の募集を行った。寄せられた意見は193通で、そのうち有効数は192通であった。提出方法の内訳は、窓口への持参が178通、電子メール6通、ファクス9通となっている。また、1通で複数の意見が書かれているものもあったため、意見総数は343件であった。</p> <p>本市では、これまで30を超えるパブリックコメントを実施しているが、今回の343件という数字は、その中でも2番目に多い件数となっており、この事業計画に対する市民の皆さんの関心の高さがうかがえた。</p> <p>資料1には、これらの意見を関連項目ごとに分類し、それに対する市の考え方を右欄に記載した。</p> <p>特に、多く寄せられたご意見としては、保育所や学童クラブにおける子どもの安全対策や保育料に関することなどであった。</p> <p>寄せられたご意見を踏まえて、事業計画の文言を一部修正していきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>◇事務局から説明のあったパブリックコメントの結果について、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。</p>
<p>委員</p>	<p>◇193通も意見が寄せられたのはすごいと思う。そのうち、窓口への持参の178通は、委員としてありがたいと思う。「193人が意見を書いてくれたよ」と分かるように取りまとめてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>●その辺りも分かるように整理し、公表していきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>案件 子ども・子育て支援事業計画(案)の修正点について</p> <p>●資料2「富田林市子ども・子育て支援事業計画(案)パブリックコメント後の修正点」についての説明。</p> <p>この修正点は、先ほど説明したパブリックコメントで市民の皆さんなどからいただいた意見に加えて、地域で子育て活動をされている組織からの意見や、福祉関係者などで構成する子育て支援ネットワークのブロック会議での意見、また市役所内部の調整による修正などを踏まえて作成した案である。</p> <p>(説明省略)</p>
<p>会長</p>	<p>◇これについて、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>◇それでは、この修正案を承認することとし、事業計画に反映をお願いする。</p> <p>●了解した。最終的な事業計画については、市ウェブサイトに掲載し、委員の皆さんには、4月以降になるが印刷製本したものを配布する。なお、パブリックコメントでのご意見とその考え方、ご意見を受けて修正する箇所については、先行して市ウェブサイトでご公表していきたい。</p>

事務局	<p>●参考資料「富田林市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」制定の報告（参考資料1）</p> <p>学童クラブの運営に関する同条例について、昨年12月議会で可決され、今年4月から施行される。（説明省略）</p>
会長	◇これについて、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。
委員	◇基準を満たしていない学童クラブについて、5年の経過措置を設けるとの説明があったが、本当に5年で整備できるのか。
事務局	<p>●学童クラブの利用児童数は、年間を通して見ると、毎年5月に最も多くなるが、その後、年度末に向けて1割以上減っていく。このような要因も踏まえながら、小学校の児童数の何パーセントが学童クラブを利用するのか5年間の予測を立てている。現行の水準を低下させることなく、小学校施設などの活用も検討しながら、5年後を目途に整備を進めていきたいと考えている。</p>
会長	◇他に何か質問や意見はあるか。
委員	<p>◇市民からたくさんのパブリックコメントが寄せられた。事業計画に反映されない意見であっても、市からコメントが出るのは良い。</p> <p>また、病児保育について、計画書の中に「優先的に」という文言が追記されたことはありがたいが、具体的にはどうしていくのか。</p>
事務局	●事業計画において、取り組むべき子ども・子育て支援策がたくさんある中でも優先的に取り組みたいと考えているが、病児保育については、医療機関の協力などが必要不可欠のため、その辺りも考慮しながら検討していきたい。
委員	◇計画書に「子どもに安全で安心なまちづくりの推進」という項目はあるが、登下校の時間は、地域の見守り活動などはあるが、17時以降の暗くなる時間帯には、このような活動がない。これまでの会議の中で、その辺りの議論があまりできていなかったと反省している。安全マップを作るなど、子どもの安全確保のための啓発などを市で行ってほしいと思う。
事務局	●安全・安心なまちづくりを推進するために、市でできること、施設でできること、学校でできること、家庭でできること、地域でできることなどいろいろある。防災訓練や校区のマップ作りなどについては、すでにそれぞれの学校で実施している。地域を含めた社会全体で子どもたちを見守ることが重要である。
委員	◇地域教育協議会では、地域の皆さんや見守り隊の皆さんらが年に数回集まり、子どもたちの安全のために話し合いをしている。また、教育課程の中に、安全教育は必ず入っており、防災訓練についても保護者の皆さんも一緒になって取り組んでいる。
事務局	●委員の皆さんのお力添えにより、一昨年から検討してきた「富田林市子ども・子育て支援事業計画」がようやく形あるものになった。新年度からこの

	<p>計画に基づき、本市の子ども・子育て支援を進めていく。また、抽出した課題については、引き続き検討していきたい。</p> <p>会長 ◇本日の案件については以上であるが、委員の皆さんには、厳しい目で事業計画の進捗具合を見てもらうことをお願いしたい。</p> <p>事務局 ●次回の会議は、秋頃を予定している。案件としては、事業計画の点検や評価となる。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---